

特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク 令和4年度 事業報告

【事業名称毎の区分】

1. 緊急支援事業(先遣隊派遣・各種人材派遣・資器材貸与)

災害発生から概ね災害ボランティアセンターの閉所(通常体制への移行)の時期までを中心に支援を行う事業。人材面では、全国ネットワークと連携した先遣隊の派遣、アドバイザーやコーディネーターの派遣、ボランティアコーディネーションを行う。資器材面では、貸与用資器材の備蓄・整備・貸出を行う。

2. 復興支援事業(生活支援・復興支援)

災害ボランティアセンターの閉所から地域支え合いセンターの設置期間(=おおむね仮設住宅の供与期間)における、生活支援・復興支援を行う事業。

生活支援には仮設住宅等におけるボランティア活動の調整、地域ささえあいセンターへの相談対応などを含む。

復興支援には、災害後のコミュニティ形成・地域づくり・災害の検証活動などを含む。

3. 人材育成・体制整備支援事業

平常時において、研修・訓練・ワークショップなどを通じ、各種人材育成・体制整備(マニュアル策定など)を支援する事業。扱うテーマは、災害ボランティア、地域防災、災害ボランティアセンター、危機管理、事業継続(BCP・BCM)、災害福祉、地域福祉、避難所(福祉避難所を含む)など。

4. ネットワーク事業

主に平常時において、環境・障害者福祉・高齢者福祉・まちづくり・消費生活・法制度・政策立案といった災害分野以外も含め、多様な団体との繋がりづくりを進める事業。官民連携、企業連携、県域・全国域の活動も含む。また、デジタル・アナログを問わず、情報の収集・発信なども行う。

5. その他事業

上記に含まれない、その他事業

1. 緊急支援事業

【継続/新規】レスキューストックヤード事業(資器材貸与及び寄贈物品受入れ)

- 1) 令和4年8月豪雨に際し、新潟県災害ボランティア調整会議の調整の元に、関川村災害ボランティアセンター及び村上市災害ボランティアセンターへボランティア活動用資機材を貸与した。詳細は別紙『村上関川資機材出荷まとめ』を右記QRコードから参照のこと。
- 2) 受け入れ寄贈物品はなし



【継続】令和4年福島県沖地震(福島県沖地震)

福島県社会福祉協議会からの要請を受け、アドバイザー1名(令和4年度分16日間)を派遣。県災害ボランティアセンターの運営助言を行うとともに、国見町災害ボランティアセンター、桑折町災害ボランティアセンター、南相馬市災害ボランティアセンター、相馬市災害ボランティアセンター、新地町災害ボランティアセンターの運営支援を行った。

【新規】令和4年7月豪雨(松島町)

宮城県社会福祉協議会、松島町災害ボランティアセンターからの要請を受け、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議のコーディネートにより、アドバイザー1名(3日間)を派遣。災害ボランティアセンターの設置運営の支援を行った。

【新規】令和4年8月豪雨(全国域調整・新潟県・村上市・関川村、秋田県)

新潟県社会福祉協議会からの要請を受け、アドバイザー1名(29日間)を県域調整業務として派遣した。主な業務は新潟県災害ボランティア調整会議業務及び関川村災害ボランティアセンター・村上市災害ボランティアセンターへの巡回助言支援業務。

同時に災害ボランティア活動支援プロジェクト会議幹事として、秋田県への先遣活動(2日間)、青森、山形、石川、福井での活動に関して、調整業務を実施。

また、関川村社会福祉協議会からの支援要請を受け、新潟県災害ボランティア調整会議と協議の上、理事及び職員5名(多川・会田・野村・池田・渡辺、のべ18日間)をコーディネーターとして派遣。

【新規】令和4年9月豪雨(静岡市本部・清水区)

清水区社会福祉協議会及び清水災害ボランティアネットワークからの要請を受け、アドバイザー1名(李、26日間)及びコーディネーター1名(多川8日間)を清水区災害ボランティアセンター及び静岡市社会福祉協議会災害ボランティア本部へ派遣した。

また、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議のコーディネートにより、コーディネーター1名(野村祐太、4日間)を葵区災害ボランティアセンターへ派遣した。



2. 復興支援事業

【継続】令和2年7月豪雨水害 大牟田市地域支え合いセンター支援業務

通年で、支え合いセンターの事業計画立案、職員研修、その他相談支援を行った。

【新規】令和4年8月豪雨水害 むらかみ見守り支援センター支援業務

通年で、見守り支援センターの事業計画立案、職員研修、その他相談支援を行った。

【新規】令和4年8月豪雨水害 関川村地域支え合いセンター支援業務

通年で、支え合いセンターの事業計画立案、職員研修、その他相談支援を行った。

【新規】令和4年9月豪雨水害 静岡市地域支え合いセンター支援業務

緊急救援終了後、え合いセンターの事業計画立案、職員研修、その他相談支援を行った。

【新規】令和4年9月豪雨水害 静岡県社会福祉協議会支援業務

緊急救援終了後、災害支援の検証、マニュアル改定、体制整備の助言を行った。

3. 人材育成・体制整備支援事業

【継続】ユース育成事業

「RあんどH」への業務委託として、新潟工業高等学校探求授業の指導を実施(右記QRコード・上段参照)。

このほか、敬和学園大学、新潟青陵大学において特別授業、三条市教育委員会との協働事業(「RあんどH」業務委託)として防災キャンプ事業を行った。

また、新潟青陵大学ボランティア活動情報誌「SEIRYO VOLUNTEER information magazine」

(右記QRコード中段参照)、広報さんじょう子ども版(右記QRコード下段参照)の取材対応を行った。



【継続】企業人育成事業

パナソニック株式会社において、災害ボランティア研修を実施。

【継続】全国社会福祉協議会(運営者研修・マネジメント研修)研修企画・実施

研修企画委員として、研修企画・研修講師業務を実施した(京都・奈良・鹿児島・四国)。

【新規】災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(運営者支援者研修)研修企画・実施

全国域研修として災害ボランティア活動支援プロジェクト会議運営支援者フォローアップ研修、並びに運営支援者育成研修を実施。

【継続】各種人材育成事業

災害ボランティア育成事業、災害ボランティアコーディネーター育成事業、地域人材育成事業(民生委員、自治会、自主防災会)を対象とした防災事業、を実施した。

【継続】危機管理体制整備事業

社会福祉協議会や福祉施設、自主防災会において、危機管理マニュアル、個別避難計画、事業継続計画(BCP・BCM)、災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの策定・改定、地域ネットワーク形成についてのアドバイザー派遣・執筆・監修等の支援を行った。

【継続】防災教材開発事業

福島大学さすけながるプロジェクトに参画し、避難所運営に関する教材開発・普及活動を実施。

4. ネットワーク事業

【継続】三条市防災会議:委員派遣

三条市の要請に応じ、委員派遣を行った(会田)。

【継続】新潟県災害ボランティア調整会議:委員派遣

新潟県災害ボランティア調整会議(事務局・新潟県社会福祉協議会)に要請に応じ、委員派遣を行った(李)。また、調整会議へ参加要請があった被災者支援コーディネーション災害中間支援組織全体会への参加・ガイドラインの監修を行った。

【継続】災害ボランティア活動支援プロジェクト会議:委員派遣

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(事務局・中央共同募金会)の要請に応じ、委員派遣を行った(李)。なお、委員会において幹事に選出されている。

【継続】災害関係資料収集活動

災害関連書籍の収集および新潟日報災害関連記事のスクラップを継続している。

5. その他事業

なし

各事業ごとの詳細(日時・担当者・開催地など)は、別紙資料「令和4年度特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク事業一覧」を右記QRコードから参照してください

